飛龍8強 乱打戦制す

飛龍―浜松商 8回裏飛龍2死満塁、岡田が走者一掃の適時二塁打を放つ＝あしたか球場

▽2回戦（あしたか第1試合）
浜松商（西部4位） 0003131008
飛 龍（東部1位） 2100021６×12８
▽本塁打 山下（浜）
▽二塁打 望月（浜）五十嵐、岡田（飛）▽ボーク 望月（浜）
▽試合時間 3時間3分

8回に6点奪い逆転

飛龍が浜松商との3時間の乱打戦を制し、今夏4回戦の雪辱を果たした。「全員が、夏に負けたリベンジをするという意識でいた」と主戦岡田。夏の悔しさを晴らした飛龍ナインが、歓喜に沸いた。

序盤に3点のリードを奪ったが、五回に岡田が制球を乱し、逆転を許した。「ストライクが思うように入らず、置きに行った甘い球を打たれてしまった」と岡田。一時は4点を追う劣勢に立たされたが、選手たちは諦めなかった。

「1点ずつ取って食らいついていけ」と選手を鼓舞する浜野監督に応え、八回、深谷の右前打を皮切りに下位打線に連打が出て同点。続く2死満塁の好機に岡田が走者一掃の適時二塁打を放ち、一挙6点とたたみかけた。

浜野監督は「集中力を切らさずに冷静に球を捉えた結果、打線がつながった」と振り返った。岡田は「次戦までの1週間しっかり調整して、東海大会と春の選抜を目指したい」と言葉に力を込めた。

（東部総局・中原僚介）

【評】飛龍が浜松商との両軍合わせて27安打の乱打戦を制した。

飛龍は五回に逆転を許したが、八回に深谷の安打を足掛かりに2四球も絡めて打線がつながり、岡田の二塁打も出て一挙6点の猛攻を見せた。

浜松商は中盤、望月の二塁打や山下の本塁打で反撃したが、八回から救援した望月がつかまった。

【浜】	商	点	安	打
⑥	月	1	1	3
④	下	2	1	4
⑨	沢	0	0	3
③	藤	0	2	4
R	沢	1	0	3
⑧	本	1	4	0
⑤	中	1	2	5
⑦	山	2	2	4
②	野	0	2	3
①	間	0	0	1
H	口	0	0	0
15	藤	0	0	0
	庭	0	0	0
6	戸			
1	松			
	望			
	山			
	梅			
	伊			
	雨			
	滝			
	皆			
	中			
	宮			
	江			
	井			
	後			
	大			
	計	8	14	35

【飛】	龍	点	安	打
⑧	加	1	0	2
①	賀	0	1	4
4	谷	1	3	5
1	岡	0	2	5
⑨	田	0	1	4
3	五	1	2	5
④	十	0	1	4
5	嵐	0	1	3
	深	1	1	4
	斉	0	0	1
⑥	山	0	0	0
⑤	加	0	0	0
7	藤	0	0	0
③	口	0	0	0
H	倉	0	0	0
9	野	0	0	0
5	浦	0	0	0
⑦	川	0	2	4
1	庄	0	0	0
5	永	1	1	3
H	沢	0	1	3
②	野	0	0	0
H	口	0	0	0
R	田	0	0	0
2	原	0	0	0
	地	0	0	0
	計	3	11	35

【浜】	4	6	2	0	1	0	8
	振	球	犠	盗	失	併	残
	3	11	2	2	0	1	12

【飛】

静岡新聞

©静岡新聞社 無断複製転載を禁じます